

兵庫県立豊岡総合高等学校 インターアクトクラブ様

2015年4月

生活協同組合コープこうべ  
地域活動推進部

## 第24回「虹の賞」表彰決定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、広くコープこうべ事業エリア内の自発的な市民活動が発展することを願って設けました当生協の「虹の賞」に、  
貴団体を豊岡ロータリークラブ 藪原 和三様 よりご推薦いただきました  
りました。

過日、学識経験者を含む9名の選考委員会で応募のあった80件について  
慎重な選考を行い、その答申を当生協理事会で審議しました結果、貴団体  
の表彰が決定いたしましたので、取り急ぎ、お知らせいたします。

なお、表彰式は7月17日(金)に行う予定です。詳細は後日ご案内させて  
いただきます。

以上、よろしく願い申し上げます。

敬具

### 【お問い合わせ先】

生活協同組合コープこうべ  
「虹の賞」事務局  
(地域活動推進部内)

TEL: 078 (856) 1105

FAX: 078 (856) 1248

2015年(平成27年)5月10日 日曜日

23 豊岡 但馬 13版▲

# 育て被災地交流の米

自分たちで栽培したお米を毎年東日本大震災の被災地に届けている豊岡総合高校の生徒たちが9日、滝川高校(神戸市)など県内3高校の生徒たちと豊岡市下宮で田植えをした。今年で4回目。14町で計600キの収穫を目指すという。

## 豊岡総合高など4校



### 泥んこ田植え 600キの収穫目指す

いずれも社会奉仕活動に取り組みインターアクトクラブの生徒たちで、今年も4校計52人が参加した。地元農家やロータリークラブの人たちに手伝ってもらいながら、昔ながらの手植えで苗を植えていった。

豊岡総合高校は震災の年から宮城県の被災者らと交流を続け、昨年は現地の中学などに240キの米を送ったほか、生徒代表が仮設住宅を訪れ、住民らと豊岡特産のかぼんの材料でストラップづくりをした。

生徒たちは毎年、アイガモ農法による無農薬米の栽培を続けており、6月上旬にはアイガモのヒナ20羽を田んぼに放す予定。アイガモは雑草や害虫を食べるほか、フンが田んぼの肥やしになるという。

2年の高橋克さん(16)は

田植えをする高校生たち＝豊岡市下宮

「泥んこの田んぼに入るの、最初に抵抗がありました。去年交流した宮城の人たちが喜んでくれるように、心を込めて苗を植えました」と話した。(藤本久裕)

2015年(平成27年)5月10日 日曜日

# 東北被災地へ米送り支援

一列に並んで田植えをする生徒ら  
—豊岡市下宮

東日本大震災の被災

地に米を送る活動をして  
いる豊岡、神戸、明  
石の高校生らが9日、  
豊岡市下宮の水田で田  
植えをした。地元農家  
の指導で、生徒らは6  
呎ほどにコシヒカリの  
苗を手植えた。

参加したのは、豊岡  
総合(豊岡市)と滝川  
(神戸市須磨区)、神  
戸山手女子(同市中央  
区)、明石西(明石市)  
の4高校でインターア  
クトクラブに所属して  
いる生徒ら計70人。被  
災地支援の一環で、ア  
イガモ農法に取り組ん  
でいる池上敏紀さんの  
田んぼを借りて201  
2年から続けている。  
スポンをひきまですま  
くし上げるなどした生

## 神戸などの高校生ら田植え

### 豊岡で70人



徒らは、素足で田んぼの朝倉崇瑛君(16)は  
へ。横一列に並び、足「被災地で出会ったお  
を取られながらも、腰はあちゃんたちに届け  
を深く曲げて丁寧に苗たい」と話していた。  
を植えていった。6月上旬には田んぼ  
豊岡総合高校3年のにアイガモを放鳥する  
平井樹里さん(17)は予定。9月に稲刈りを  
「昨年よりもたくさんし、宮城県内の仮設住  
の量が収穫できればい宅などに送る。  
いな」。滝川高校2年  
(斎藤雅志)